学校番号	２０６

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「日本史探究」　（実教出版）						
副教材等	最新　日本史図表　（第一学習社						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主体性をもち、国際社会における多様な価値観や文化を認め、平和で民主的な国家および社会の形成者に必要な資質能力の育成をめざします。
・自主的な学習が前提です。そのためにあらかじめ教科書を読んで、予習することが絶対必要です。これは受験勉強にもつながります。
・講義形式のほか、自ら考え、発言できるような授業形態もとります。その日の授業の内容を詩文で説明できるようになることが大切です。
・単語の暗記だけではなく、歴史的事実に関する原因・結果の因果関係を理解し、また、その歴史的事実が現在の自分にどうかかわるのかを考えます。共通テストにみられる読解力、思考力、判断力の向上にもつながります。
・資料（史料）の読み取りなども積極的に行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・原始・古代から系統的に学習し、時代の流れや現代とのつながりを理解します。日本史の理解に必要な基礎事項の習得・定着を図り、世界史とも関連付けながら、歴史的諸事情に対する考察を深めるための情報を調べ、まとめる技能を身につけることをめざします。各時代の意義・特色や時代の変化にかかわる特徴を、諸資料をもとに読み解く力を養います。

【思考力、判断力、表現力等】
・１年次の「歴史総合」、２年次の「日本史探究」で培った諸事象についての考察力を活用し、日本史の各時代の意義・特色や時代の変化にかかわる特徴を、諸資料を読み解いて多面的・多角的に考察する力を身につけ、それを論理的に説明・議論する力を育成することをめざします。

【学びに向かう力、人間性等】
・各時代における諸問題について、諸資料に基づいて主体的に課題を設定し、多様な意見を考慮しつつ、課題解決のために持続的に考察できる力の育成を図ることをめざします。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本史の理解に必要な基礎事項を習得・定着させ、世界史との関連を意識し、歴史的諸事象に対する考察を深めるための情報を調べ・まとめる技能を身につけている。	日本史の各時代の意義・特色や時代の変化にかかわる特徴を、諸資料を読み解いて多面的・多角的に考察する力を身につけ、それを論理的に説明・議論する力を身につけている。	各時代における諸問題について、諸資料に基づいて主体的に課題を設定し、多様な意見を考慮しつつ、課題解決のために持続的に考察できる力を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第1部　第1章日本文化のあけぼの	第１部第１章 １．日本列島最古の文化 ２．縄文時代の社会と文化 ３．弥生時代の社会と文化	第１部第１章 a:・旧石器文化から縄文文化への変化，弥生文化の成立などを基に，黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成，原始社会の特色を理解している。 b:・自然環境と人間の生活の関わり，中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係，狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して，環境への適応と文化の形成について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・黎明期の日本列島の変化に着目して，原始社会の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 c:・旧石器時代・縄文時代・弥生時代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	・定期テスト	・定期テスト ・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り	・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り

	第2章　ヤマト政権の成立と古墳文化		第２章 a:・国家の形成と古墳文化の成立過程などを基に，古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 b:・中国大陸・朝鮮半島との関係と政治や文化への影響などに着目して，小国の形成と連合，古代の国家の形成過程について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・ヤマト政権の展開や，渡来人によって伝えられた文化に着目して，古墳時代の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 c:・ヤマト政権の成立と古墳文化に関わる諸事象について，課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	・定期テスト	・定期テスト ・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り	・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り

2	第３章　律令国家の形成　第４章　古代の国家・社会の変容	第３章 １．古代国家の形成 ２．飛鳥文化・白鳳文化 ３．律令制度 ４．奈良時代の政治 ５．天平文化 第４章 １．律令体制再編期の政治と社会 ２．摂関政治の成立と支配体制の転換 ３．国風文化	第3章 a:・律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に，古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 b:・中国大陸・朝鮮半島との関係，隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して，主題を設定し，古代の国家の形成過程について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ・律令国家形成期の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 c:・律令政治の導入と，それにともなう社会の変化について，課題を主体的に探究しようとする態度を養うとととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。 第４章 a:・貴族政治の展開，平安期の文化，地方支配の変化や武士の出現などを基に，律令体制の再編と変容，古代の社会と文化の変容を理解している。 b:・地方の諸勢力の成長と影響，東アジアとの関係の変化，社会の変化と文化との関係などに着目して，主題を設定し，古代の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して	・定期テスト	・定期テスト ・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り	・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り

			表現している。 c:・平安時代の国家・社会の変容について，課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。			

	第２部　第１章　荘園公領制の成立と院政　第２章　中世の国家・社会の展開	第2部第1章 荘園公領制の成立と院政 第2章 １．鎌倉幕府の成立と朝廷 ２．中世に生きる人々 ３．蒙古襲来と幕府の衰退 ４．鎌倉文化	第２部第１章 a:・貴族政治の変容と武士の政治進出，土地支配の変容などを基に，古代から中世への時代の転換を理解している。 b:・権力の主体の変化，東アジアとの関わりなどに着目して，古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現している。 ・時代の転換に着目して，中世の特色について多面的･多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 c:・貴族政治の変容や武家政権の成立，当該期の世界との関わりについて，課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。 第２章 a:・武家政権の成立と展開，産業の発達，宗教や文化の展開などを基に，武家政権の伸張，社会や文化の特色を理解している。 b:・公武関係の変化，宋・元（モンゴル帝国）などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して，主題を設定し，中世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的･多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c:・武家政権の成立と展開，鎌倉時代の産業・文化の発展，公武関係の変化，ユーラシアとの交流などについて，課題を主体的に探究しようとする態度を養	・定期テスト	・定期テスト ・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り	・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り

			うととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。			
3	第3章　中世の国家・社会の変容	第３章 １．南北朝の動乱 ２．室町幕府の政治と外交 ３．室町社会の展開と応仁の乱 ４．室町文化	第３章 a:・武家政権の変容，日明貿易の展開と琉球王国の成立，村落や都市の自立，多様な文化の形成や融合などを基に，地域権力の成長，社会の変容と文化の特色を理解している。 b:・社会や経済の変化とその影響，東アジアの国際情勢の変化とその影響，地域の多様性，社会の変化と文化との関係などに着目して，主題を設定し，中世の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c:・中世の国家や社会の変容に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	・定期テスト	・定期テスト ・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り	・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度